



今月は、高田東中学校の学校生活や日々の取り組みの様子をお届けします

### キャンドルリレー

キャンドルリレーを2月25日(水)・26日(木)の2日間にわたり実施しました。本年度で7年目を迎える本行事は、震災を忘れず、その記憶と教訓を未来へとつないでいくことを目的に大切に続けてきました。

本年も、箱根振興会会長の佐々木善仁さんや小学小中学校の地域コーディネーター武蔵裕子さんのお話から、当時の地域の方々の思いを感じることができました。また、気仙大工左官伝承館の「3.11 希望の灯り」から分灯していただいた火を、ランプへと灯しました。その他にも、日頃より学校を支えてくださっている地域の方々への感謝の気持ちを胸に、先輩から受け継がれてきた灯を大切にしながら、生徒一人一人がキャンドルに光を灯しました。温かな光に包まれながら、地域に元気や勇気を届けたいという願いが、静かに広がる時間となりました。



### 新年度のスタート、入学式、対面式



本年度の入学式を、4月6日(月)に行い、52人の新入生を迎え、新たなスタートを切りました。新入生は緊張しながらも、しっかりと返事や態度で式に臨み、中学校生活の第一歩を踏み出しました。

また、4月10日(金)には、新入生を迎える対面式を行いました。式では、新入生による決意の言葉が述べられ、その後、2・3年生から新入生一人一人へエールが送られました。温かい声援に包まれながら、新入生は中学校生活への期待を膨らませていました。その他にも、学校生活を工夫を凝らして紹介し、校歌や生徒会歌の披露、元気いっぱいの部活動紹介も行われました。新入生にとって、これからの学校生活を思い描くことができる時間となりました。

### 高田東中学校生徒会 絆プロジェクト

本校第14期生徒会のスローガンは、「<sup>いろどり</sup>彩～我が紡ぐ希望の光」です。本スローガンには、私たち一人一人がもっている様々な色を紡ぎ合わせて、一つ一つの希望とみんなの希望を実現しようという思いが込められています。本校の創立当時から受け継がれている生徒会活動を「絆プロジェクト」といい、「発信・貢献・つなぐ・残す」を目的として活動しています。震災当時は、生徒や地域との交流が中心でしたが、現在はつながりも広がっています。合唱や挨拶運動、いじめ「しない・させない」宣言、アルミ缶回収など、生徒の絆、地域の絆を大切にしていき、みんながつながり、支え合える高田東中学校を目指します。



問い合わせ先 高田東中学校 ☎0192(55)2756

### 市有地の維持管理作業を行う自治体を募集します



市では、市有地の草刈りや清掃などの維持管理作業を行う自治体を募集しています。応募する自治体は、作業を行う前に、市役所土地活用推進課に備え付けしている申込書を提出してください。

#### ◆対象

地域住民を構成員とする自治団体  
(道路愛護会など市から草刈作業などに関する別の補助を受けている自治団体を除く)

#### ◆内容

市有地(団地の法面・公園・移転元地など)の草刈りおよび清掃などの維持管理作業(概ね10月までに3回を上限とする。)

#### ◆補助額

1回あたり11円/m<sup>2</sup>

#### ◆申込期限

7月3日(金)



草刈りによる維持管理作業の様子

問い合わせ先 市役所土地活用推進課土地活用係(内線431、433)

教えて **SDGs** Sustainable Development Goals

その先の笑顔のため、いまできること

★SDGsとは… 自分子どもや孫たちが暮らす未来に、住み続けられる世界を残すため、掲げられた全世界の人が取り組むべき17の目標。

あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか?

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。本コーナーでは、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。



### 自然のものを自然のかたちで

やまこや 山木屋 平山 直さん



#### 普段の仕事の内容を教えてください

間伐や造林などの林業に携わりながら、妻や従業員と協力して、地場産材を活用したおもちゃや記念品などの小物、家具といった木工製品を製造しています。

#### SDGsに関する取り組みの展開、目標などがあればお聞かせください

日々の仕事を一つ一つ積み重ね、製品を少しでも多くの人に届けていきたいです。そうすることで、交流の輪を広げ、木の良さを広めていきたいと考えています。

#### これからの高田をどんなまちにしていきたいですか

林業・農業・漁業に従事する人の中には、小規模だからこそ全ての工程を一人でこなす方が少なくありません。そうした方々を大切に、次の世代へ、培われてきた技術を受け継ぎ、未来につなげていけるまちになって欲しいと思います。